

ボランティアセンターの今を知って start on!

Now V-station

2022

11

No.008

11月の活動①

—V-stationすぎもと運営MTG
(11月から定期開催)

11月の活動②

—千早赤阪村 棚田夢灯り

11月の活動③

—いきいき堺市民大学
コミュニティデザインカフェ

11月の活動④

—コミュニティガーデンイベント
@なかもずフェスティバル

など計7つの活動報告

◎特集

「リユース」「リサイクル」のその先へ。

プロジェクトに
参加している学生に
インタビュー



今回の特集では、様々な思いから、リユース・リサイクルに取り組む3つのプロジェクト取材しました。

プロジェクトに参加する学生は、普段どのような学生なのか、少し日常を聞いてみました。



Fashion Swap 大阪公立大学

石丸 汐見 さん (経済学部4年生)

最高学年ですが、まだまだ現役のつもりで部活・授業・長期インターンなどに取り組んでいます。好きなことに挑戦しやすい「大学生」という身分を謳歌していると思います。笑

人と交流するのが好きです。色んなアイデアやモチベーションを、よく人からもらっています！



Fashion Swap 大阪公立大学

久保 直希さん (法学部1年生)

「思い立ったら即行動」を motto にいろんな活動に手を出しています。

兼部・兼サーは9つしており、バイトも週4.5日入るなど慌ただしい日々ですが、そのすべてから刺激をもらっています。

とても充実しています。とても眠たいです。



ピープルポート株式会社(インターン)

馬淵 成美 さん (経済学部3年生)

趣味でピアノを弾いています。最近は老人ホームや保育園でピアノの演奏ボランティアをたくさんして売り出し中です！

旅行も好きです。一人で海外旅行に行くときはゲストハウスに宿泊して現地で外国人の友達を作って一緒に観光するのも一つの楽しみです。

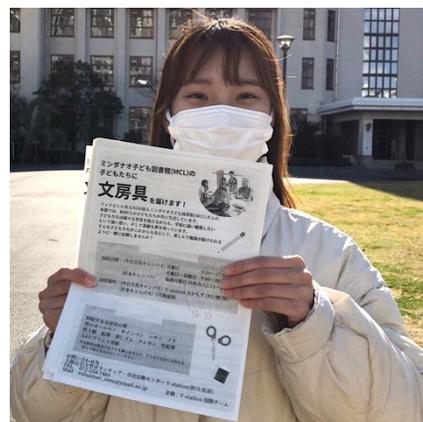


V-station国際チーム

直江 由充子 さん (理学部2年生)

合唱部にも所属しています！部活の週3日の練習に加えて学外での活動にも参加するほど合唱が大好きです！

複数のパートが重なることでつくられるとても綺麗な和音の響きを歌い手も聴き手も楽しむことができるのが1番の魅力だと思っています。



V-station国際チーム

小椋 咲幸 さん (商学部1年生)

毎日京都から約2時間かけて通学しています。大変ですが勉強とバイトの両立に励んでいます。

新しい事に挑戦するのが好きで、大学生になってからも読書やお弁当作りなどの趣味を見つけました。

その挑戦の一つとして国際チームにも参加しています。

プロジェクト紹介

今回紹介する活動は、全て杉本キャンパスでの開催がメインとなっています。様々な活動が実施されている杉本キャンパスに注目です。

(12月以降は活動頻度・活動場所の変更の可能性があるのでSNSなどをご確認ください)



① Fashion Swap 大阪公立大学

※ swap : 「交換する」という意味の英単語

Point 留学体験から生まれたイベント

このプロジェクトをはじめた石丸汐見さんは、約1年間アイルランドのダブリンシティ大学に留学していた経験を持ちます。そこで「Sustainable Living Society」という学生団体が開催していた、服交換の取り組み「Swap Shop」に関心をもち、石丸さんも運営メンバーとして参加していたそうです。

もともと、服の大量生産・大量消費、それに付随する発展途上国での労働問題や環境問題に関心があった石丸さん。そんな時に出会えたSwap Shopを日本でも開催したいと考えたそうです。

Point 今後やってみたいこと

石丸さんは、杉本キャンパスで新たに始めた「Fashion Swap」という取り組みを通して、服飾産業を取り巻く問題を知ってもらいたいとおっしゃっていました。“この活動はあくまでも「手段」「きっかけづくり」です”という言葉が印象的でした。

② PC回収プロジェクト

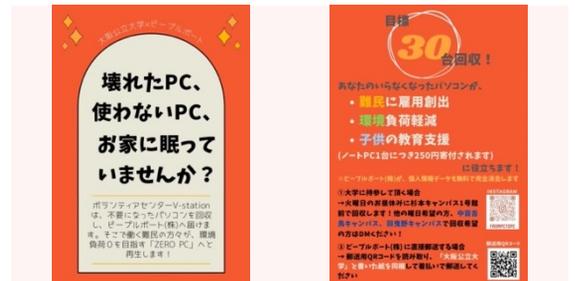
Point インターン先で企画したプロジェクト

この活動を始めた馬淵成美さんは、インターン先であるピープルポート(株)で、今回の大学でのPC回収プロジェクトを企画しました。ピープルポートでは、普段からPCを無料回収し、日本に来た難民の雇用を作りながらPCをリサイクル、回収台数や種類に応じた一定額を子どもたちの教育に役立てる活動を行っています。

もともと海外の文化や多文化共生に興味があり、様々な国からやってきた人と一緒に暮らす国際シェアハウスで暮らしていた馬淵さんは、そのシェアハウスで開催されたイベントの中でピープルポートを知り、インターンをするようになったそうです。

Point 大学生にもこういった活動を知ってほしい

今回は、大学生にも会社の活動を知ってもらい、社会に出た後も時々思い出してPCを送ろうと思ってもらえたらという気持ちで開催したそうです。活動を終えて、今回のようなソーシャルビジネス(社会的起業)について今後はもっと学んでいきたいと話していました。



③ 文房具回収プロジェクト

Point フィリピンの子どもたちと繋がる活動

V-station国際チームの直江由充子さんは、MCL(※)の支援する子どもたちに文房具を寄付するため、学生から文房具の回収を行なっています。元々子どもが好きで発展途上国の子どもたちへの支援にも興味があり、MCLが日本で開催する様々なイベントやセミナーなどに参加されてきた直江さん。その中で、“MCLの子どもたちとの直接的なつながりを築けていない...何か子どもたちとつながるための活動をしたい!”と考えて始めたのが、この活動だったそうです。

Point 子どもたちの強い思いと夢を知ってほしい

“ミンダナオの子どもたちと物理的な距離は遠く離れていますが、この寄付によって心の距離がもっと近くなれば良いと思います。子どもたちは様々な背景を抱えながらも学校に通い勉強したいという強い思い、そして素敵な夢も持っていて、そのことを少しでも多くの人に知ってもらいたいです”と話す直江さん。今後は、今回の寄付が一度限りの支援にならないようにしつつ、継続的に子どもたちとつながりを築きたいとのことでした。

※ ミンダナオ子ども図書館(MCL) フィリピン・ミンダナオ島で子どもを中心にした様々な支援を実施している現地NGO

杉本キャンパスの拠点をさらにより良い場所へ！

V-stationすぎもと運営ミーティング

大阪府・大阪市

運営

11月10日(木)～毎週木曜日3限@V-stationすぎもと(杉本キャンパス)

すぎもと運営ミーティングは11月10日(木)にスタートしました！このミーティングの目的は大きく分けて2つです。

- ① やるべきことを決めること
やるべき**タスクを整理**して、誰がいつやるのかを決めていきます。
- ② チームワークを高めること (こっちの方が重要かも！)
ミーティングを通して**互いに人柄を知る**ことで一緒に活動するモチベーションを高めていきます。

ミーティングは、
チェックイン(個人の近況報告、free talk)

- ボランティア関連の情報共有
- 日程確認や決定事項

という流れで行っていきます。



すぎもと運営ミーティングは、学生スタッフとコーディネーターの計3,4名で行っています。**和やかな雰囲気**が特徴で、回を重ねるごとにメンバー同士が新たな一面を知っていきフリートークも盛り上がってきました。

順調に進んでいますが、一方で課題もあります。ボラカフェを訪れる人が**まだ限られている**のが現状です。多くの方にボラカフェを活用してもらい、ボラカフェが**新たな出会いの場**になるよう、運営していきたいと思っています。

ボランティアの話を聞きに来るもよし、ただ暇つぶしのために来るもよし、是非一度ボラカフェにお立ち寄りください！お待ちしております☆

杉本では今まで fashion swap という服の交換会や チャリティーバーなどが企画、実行されてきました。これらは学生の提案が実際に実現されたものです。これからも、杉本ボラセンを、みんなのやりたいことを叶えられる場にしていきたいなと思っています！

わたしは後期から杉本ボラセンの活動に学生スタッフとして参加しています。中学高校と、今まで参加者の立場であることが多かったのですが、運営側で活動することに不安もありました。しかし、普段接点のないような方とお話する機会があったりと嬉しいことも多く、やりがいも感じています。



参加した学生の声

板谷 翠 さん
生活科学部 1 年生

まちづくり

大阪府・千早赤阪村

棚田に広がる幻想的な灯火の風景

金剛山の里 棚田夢灯り2022

11月12日(土) @下赤阪の棚田

先月の「Now V-station」でも登場した**大阪唯一の村**、千早赤阪村。

普段は農業ボランティアを受け入れてくださっていますが、11月17日には、「**棚田夢灯り**」という村のお祭りのお手伝いをさせていただきました！

夢灯りとは、日本の棚田百選に選ばれている千早赤阪村の**棚田を灯籠でライトアップ**するイベントです。稲刈りも終わったこの時期、田んぼはまだ美しい風景を見せてくれます。



今回は、お祭り開始前に棚田を照らしてくれる灯籠を田んぼのふちに並べ、開始後は来場者の誘導などを行いました。

出店も多数出店しており、ドッグランもあったのでかわいい犬たちにもたくさん会えました。

すてきな所なので、**農村・農業に興味がある方**などは、今回の千早赤阪村でのボランティアにぜひ参加してみてください！

景色を眺めながら学生同士で様々な話をしたことも良い思い出です。帰り道はクタクタでしたが、始終楽しい活動でした！

「棚田夢灯り」は地域に根付いた大切なイベントであることを実感しました。そのような思いを感じたこと、また、準備を手伝ったことで、灯籠が棚田に輝く風景がより美しく感じました。同じ灯でも、街なかのイルミネーションよりも温かみを感じる風景で、来年もまた見に来たいと思いました。

木下 愛菜 さん
現代システム科学域 3 年生



参加した学生の声

荒れた花壇を地域の方々の憩いの場に

コミュニティガーデンイベント

大阪府・堺市

環境

11月13日(日) @デイリーカーナート中百舌鳥店

中百舌鳥キャンパス近くにあるスーパー、デイリーカーナート中百舌鳥店には**放置されて荒れた花壇**がありました…

そこで、デイリーカーナート中百舌鳥店主催、大学内外で園芸ボランティアをしているはなさかプロジェクトが企画・運営を行なって、この花壇を**地域の方が集まれるコミュニティガーデン**にしました！大阪公立大学教育後援会チャレンジ事業にも採択していただいています。

今回、花壇が面する中百舌鳥駅前商店街の方や、花壇の横にある花屋さんの協力もいただき、無事完成させることができました…！



まず、無造作に生えた雑草を取り除きました。

次に、花が育ちやすい土にするため、土を3分の1ほど取り除きました。取り除いた土はなんと**土嚢袋70袋**！土が減ったところで、黒ずんでいた白レンガ部分にペンキを塗りました。ペンキ初心者しかいなかったのでよく見ると色ムラがありますが…(笑)

その後、土壌改良剤と培養土を加えました。最後に、花苗の植栽を行いました。今回は、ピオラ、キンギョソウ、チューリップ、カーネーション、ラベンダー、ローズマリーを植えました！

これからは**手前のスペースの有効活用**をする予定です！

アルバイトは給料を貰って働くものですが、このようなボランティア活動も社会には必要で、ボランティアによって社会が支えられている部分も大きいことに気づかされました。

活動は農作業中心であり率直にとっても楽しく、また周りの方々が精力的に活動しているのを拜見できたのもとても魅力でした。

ボランティアは無関心でそういう活動が大学内にあることも知りませんでした。今回農学部素晴らしい方に声をかけていただけて、はなさかプロジェクトの活動にたまたま参加させて頂きました。

山根 大明
1年生



参加した学生の声

堺市で開催されている市民講座の受講生が大学生と一緒に企画！

コミュニティデザインカフェ

11月13日(日) @中百舌鳥キャンパスB15棟シエル

まちづくり

大阪府・堺市

このイベントは、「いきいき堺市民大学」という取り組みの中で実施しました。

「いきいき堺市民大学」は、定年を迎えたあと、何か違うことをしようと思っている方や、堺市で何か活動をしたい方などに向けて、様々なコースを通して仲間とともに学び、交流していく場をつくる**セカンドステージ(第2の人生)応援活動**です。

今回は、その中の“コミュニティデザインコース”として、受講生みんなで協力してどのような活動を行うかを、大学生も混じりながら1から考え、実際に運営していきました。



コミュニティデザインカフェは、地域の人や市民活動に関心のある人が集まり、地域の課題について語り合い、これからの**まちのより良いあり方を考える場**です。また、自分一人ではできないことをまちの人と手を結ぶことによって**実現へと近づけるための交流の場**でもあります。

今回は、地域の課題として「子育て」「医療・福祉」「地域のつながり」「社会的孤立」の4グループに分かれて、それぞれに語り合いました。

大学生とシニア、**世代を越えて地域について考える**貴重な交流の場となりました。

高齢者の受講生の皆さんがやりたいと思っていることがたくさんあり、いきいきと感じられることを感じられる貴重な体験でした。また、多世代の参加者の皆さんと話し合うことができ、このような場を作ることができて良かったです。

私は「医療・福祉」のグループに入ったのですが、傾聴ボランティアや担い手介護など堺市民の方の活動の話を聞いたり、堺市の医療・介護制度について議論したりして、看護学生としてどうやって地域に関わっていくかを考える良い機会になりました。

6月から会議に参加して受講生の皆さんと企画と一緒に考え、コミュニティデザインカフェを開催しました。多くの方に参加いただき嬉しかったです。

松村 朱里
看護学部1年生



参加した学生の声

自分の「やりたい」を見つけるきっかけづくり

夢こもんず(ゲスト:日高研二郎さん)

大阪府

11月15日(火) @V-stationなかもず

自分の「やりたい」を見つけるきっかけを作りたい。
夢こもんずは、そんな想いで毎月開催している“交流型”トークイベントです。

様々な経験をした大阪公立大学の学生やOB・OGの話を聞き、参加者同士で想いを語り合うことで自分の将来を考えるきっかけを提供しています。

現在は、ゲストとしてOB・OGを招く回を「夢こもんず」、現役学生を招く回を「夢こもんずユース」として開催しています。



11月は、半年に一度のOBの社会人の方がゲストでした。
大阪府立大学の卒業生で、現在南海電鉄にお勤めの日高さんにお話ししていただきました。

今大学で行なっている様々な活動が、社会人になった時どんな形で活かされるのか、少し先の未来をイメージするきっかけにすることができました。

今回は12/20に農業に対して熱い想いをもって行動し続ける大阪府立大学生命環境科学域2年生の霜野真佑さんにお話ししていただきます。

様々な経験をして、視野を広げていった様子がありありと伝わってきました。
はじめから全てできる人はいない、挑戦すること、世界を膨らませ、いく、新しい価値観を獲得していく、学生時代だからこそできることの大切さを学びました。

学生時代の活動や、南海電鉄で携わった地域を削り上げていく取り組みについてお話ししてくださいました。私にとって特に印象的だったのは、学生時代の多種多様なアルバイト経験と海外旅行の経験です。

現代システム科学域
1年生
天野竜也



参加した
学生の声

まちづくり

大阪府・堺市

堺市を代表する神社で灯す和風のキャンドルイベント

インスタnight in 大鳥大社

11月18日(金),19日(土) @大鳥大社

「インスタnight in 大鳥大社」は、普段は入ることができない「夜の大鳥大社」を灯籠などでライトアップするイベントです。堺市西区の新たな魅力づくりの一環で、昨年開催されています。

今年は大鳥大社と、区役所の若手を中心とした職員で結成された「区の魅力向上」を図るチーム「ニシシーズプロジェクト(ニシプロ)」と、西区内にある大阪物療大学・羽衣国際大学の学生、そして大阪公立大学の学生で協力して企画を進めてきました！

8月から企画をスタートし、約3ヶ月間を企画を進めてきました。



企画の詳細(堺市HP)



今回は、昨年同様のフォトコンテストなどのほか、学生発案のキャンドルスポットや自撮り用の和傘・提灯の展示、イベント限定の祈願用紙の配布、子どもが参加できる楽しい催し「宝探し」など、盛りだくさんの新企画を実施しました！

2日間でなんと約1100名の方にご来場いただき、昨年と比べ400名の増という結果でした！ご来場いただいたみなさま、ありがとうございました！

堺市にはたくさんの魅力を感じ、また他大学の学生と一緒に企画をすることはすごく楽しかったです。

農学部
1年生
谷 菜乃実



参加した
学生の声

私は当日スタッフとして参加しました。境内のライトアップだけでなく、小さな子どもも楽しめるような宝探しのゲームも行っており、私はその宝探しゲームの担当でした。ゲームの内容を説明するのにも、どうすればわかりやすいだろうか、とか、子どもとの接し方などを考えたり、自分にとっても学ぶことが多かったです。来場者の方が楽しんで、ゲームに参加している姿を見ると、とても嬉しい気持ちになりました。神社にライトアップとインスタを組み合わせてることにより、大鳥大社が地域の方々にとって親しみやすい場所となったように思います。ライトアップも魅力的ですが、地域との距離が近いことも魅力だと感じました。

11月27日(日) @中百舌鳥キャンパスA5棟

2025年に開催される大阪・関西万博。それに合わせて、大阪公立大学ではV-stationと万博市民連携推進室が協力して、**地域課題に主体的に取り組む「ボランティアリーダー」**を養成するプログラムを11月から始めました。万博会期中も会期後も**ボランティア活動で中心**になれるきっかけを作ります。

連続講座1回目今回は、市民の方と大学生と一緒にボランティアについて学びました。最初に皆さんと自己紹介を兼ねて伝言ゲームを行い、その後グループに分かれて交流を深めました。

ボランティアについて皆さんの持っている考えを伝えあうことができたのでよかったです。この講座が終わった後どのように変化しているのかが気になります。



また、第1回目ということもあり、学生スタッフが**ボランティアセンターやV-stationについての説明**も行いました。次に**環境活動**にはどのようなものがあるのかを伝えて、続けてそこに実際に取り組んでいる学生の話をしました。大塚先生にも環境問題について講義していただきました。

環境活動について今まで持っているイメージが変わったという人がたくさんいました。幅広い活動が環境活動になるだと思って取り組むハードルが下がればいいなと思いながらお話をさせていただきました。

オリエンテーションのほかにV-stationの学生がボランティアの経験や語り、公立大の教授が環境への取り組みや授業のようについて解説したりして、一回りだけでも幅広い知識が身につきました。月に一回ほどあるので、これからも参加して万博でボランティアとして活躍できる人材を目指していきたいと思えます。

法学部 1回生
松村 美詩さん
11月27日の中百舌鳥キャンパスで行われた、ボランティアリーダー育成プログラムのオリエンテーションに参加しました。
今まで参加してきたボランティアとは異なり、大人や高齢者の方が学生よりも多かったことに驚きましたが、様々な経験や体験を聞いたり、ボランティアへの想いを話したりして貴重な話を多く聞きました。



参加した学生の声

イベント告知

2022年12月5日(月)～9日(金)
昼休み～5限はB12棟前で開催

本のテーマ

誰かの人生を知る
読みにびっくり!?
自分の好きな本
自分を愛した本
日常を彩る
ボランティアに関連

本の借り出し

①会場から好きな本を選びます
②読んだらコメントを書いて、返却しましょう!
(本の貸し出し)
③本を持ってきて一時的に寄贈します
④自己紹介ポップに、一言書きましょう!
⑤後日、コメント付きで本が返ってきます

学生LIVErery

～本を通して人とつながろう～

日時: 12/5(月)～12/9(金) 12:30～18:30
場所: 中百舌鳥キャンパスB12棟学生会館前 (屋外) にテントブースを設置
内容: 本を借りたり、自分のおススメの本をV-stationスタッフを通じて他の参加者に貸し出しながらかわいができます!
申し込み不要・貸し出しして下さる方は、当日本を持ってきてください!

主催 大阪公立大学ボランティア・市民活動センターV-station
お問合せ先 Mail: volunteer_omu@gmail.ne.jp TEL: 072-254-7484

学生LIVErery

貸出用の本を募集します!

テーマ

誰かの人生を知る
読みにびっくり!?
自分の好きな本
自分を愛した本
日常を彩る
ボランティアに関連

注意

必ず読んでほしい本!
×: 辞書・参考書・教科書 ○: コミック・漫画
※借り用のものに成り立っています。
貸出用に持ってきていただいた本は一時的に誰か別の人の元に戻ることを承知ください。

イベントでスタッフが貸出する本を大募集!
開催期間中、上記の6つのテーマに沿った内容の本を募集します。

本を貸して下さる方は、イベント中会場までお越しいただき、スタッフまでお声がけください。
スタッフが自己紹介ポップをお渡しするので、そちらに必要事項のご記入をお願いいたします。

なお貸していただいた本はスタッフの方で預かり、本を借りに来た他の方に貸し出す形となります。一時的にですが、ご自身の本が他の方の手に渡ることを予めご了承ください!

貸していただいた本は、借りた人の感想カードと一緒に後日返却いたします。

主催 大阪公立大学ボランティア・市民活動センターV-station
お問合せ先 Mail: volunteer_omu@gmail.ne.jp TEL: 072-254-7484

V-stationでは、**人と人の偶然の出会いの場**を作る一環で、本の借出/貸出イベントとして「学生LIVErery」を開催します!

◎本を手渡す際のちょっとした会話で、**人同士の交流の温かみ**を感じてもらう

◎イベント参加者や運営スタッフがお互いの呼び名や**人柄**を知る。

◎ただ読むだけではなく、**人と人をつなぐ本の価値**を高める

の3つの目的を持って開催します!

V-stationカレンダー ～12月の活動スケジュール～

活動名	活動日	活動時間	活動場所
チャリティーバー プレイベント	12月1日(木)	16:00～21:00	喫茶カントリー
オープンカレッジ	12月4日(日)	9:15～15:30	中百舌鳥キャンパス
花いっぱいやさかい	12月4日(日)	9:30～11:30	原池公園
学生LIVErery 屋外受付	12月5日(月)～9日(金)	昼休み～5限	中百舌鳥キャンパス
しらさぎおうちごはん	12月5日(月)	15:00～19:00	おうちcaféモモ
	12月12日(月)	15:00～19:00	おうちcaféモモ
	12月19日(月)	15:00～19:00	おうちcaféモモ
	12月26日(月)	15:00～19:00	おうちcaféモモ
Fashion Swap	12月6日(火)	昼休み(12:00～13:00)	前庭(杉本キャンパス)
	12月20日(火)	昼休み(12:00～13:00)	前庭(杉本キャンパス)
文房具回収プロジェクト	12月6日(火)	昼休み(12:30～13:00)	前庭(杉本キャンパス)
	12月13日(火)	昼休み(12:30～13:00)	前庭(杉本キャンパス)
苅田地域こども110番の家めぐり探検	12月10日(土)	9:00～12:00	大阪市住吉区苅田
ボランティア先生 in 若松台中学校	12月14日(水)	13:20～15:00	堺市立若松台中学校
ボラがくvol.20 テーマ:エイズ	12月14日(水)	18:30～20:00	V-stationなかもず
笑働の森づくり	12月17日(土)	9:00～16:00	大阪府和泉市槇尾山
とっておきの音楽祭 in さかい クリスマス音楽会2022	12月17日(土)	13:00～16:30	堺市立東文化会館
minamiパークキャンドル2022	12月17日(土)	17:00～20:00	西原公園
コミュニティガーデン@デイリーカナート	12月18日(日)	9:30～10:30	デイリーカナート 中百舌鳥店
ボランティアリーダー育成プログラム②	12月18日(日)	13:00～16:30	杉本キャンパス
夢こもんずユース	12月20日(火)	18:30～20:00	V-stationなかもず
ユネスコ世界寺子屋運動 説明会	12月21日(水)	12:30～13:00	V-stationなかもず
堺市中区政策会議・学生部会	12月23日(水)	18:30～20:00	V-stationなかもず
なかよしクリスマス会	12月24日(土)	13:00～16:00	中百舌鳥キャンパス
釜ヶ崎越冬闘争	12月29日(木)	13:45～20:00	大阪市「釜ヶ崎」地区

編集後記

～ editor's note ～

【編集者 学生スタッフS】

今月は「特集記事」にこだわってみました！

杉本キャンパスで活発化する様々な活動を特集するべく取材を重ねましたが、他人の話を聞くのってやっぱり面白い...！お話を聞きたびにその方がどういう思いを持って活動に参加しているのかをお聞きして、すごくを刺激を受けました。

趣味もあって始めたこのニュースレターですが、これはなかなかやめられん....(笑)

来月もこのような特集記事を書けるかは未定ですが、またいろんな人の話を聞いてみたいなあ....

(写真は11月末に東京に行った時の写真です。紅葉綺麗やった～)



NEWS

12月は「なかよしクリスマス会」開催！

V-stationと友好祭実行委員会は、地域の子もたちを大学に招待して開催するクリスマスイベント「なかよしクリスマス会」を3年ぶりに開催します。

部活動団体も一緒に盛り上げるイベント

です！

ぜひ皆さん一緒に子どもたちを明るく迎えましょう！



大阪公立大学ボランティア・市民活動センター V-station

〒599-8531

大阪府堺市中区学園町1-1 中百舌鳥キャンパスB12棟2階

TEL:072-254-7484 Mail:gr-gks-volunteer@omu.ac.jp



公式HP



Instagram



公式LINE



Twitter

